

現状説明資料 (松本委員からの提供資料)

2001/10/09

第5回猪名川部会資料

猪名川中下流域の淡水魚等の生息状況について

池田・人と自然の会

代表 松本 馨

はじめに

水辺の自然を愛する一市民として、池田市及びその周辺地域の水辺を中心に淡水魚を採集・観察をして10年程になります。川の生態系はゆく度ごとにその様相を変化させ、驚かされます。また、ゆく度ごとに新しい発見があります。その経験・観察をもとに、文献や聞き取り情報も踏まえて猪名川水系の淡水魚の状況を報告させていただきますが、専門的な定量データに基づくものではないことをお断りしておきます。

I 猪名川流域に生息する淡水魚

上流域

| 魚種名 | 生息環境 | 備考 |
|---|-----------------|------------------------------|
| 1 タカハヤ | 最上流部 冷水性 岩陰 | 初谷川で普通 ☆大阪要注目 |
| 2 カジカ | 最上流部 冷水性 礫底 | 近年採集できず ☆大阪Ⅰ類 |
| 3 スナヤツメ | 最上流部 冷水性 砂礫底 | 文献記録より ☆大阪Ⅰ類 |
| 4 カ ^レ ト ^ケ ト ^シ ョウ | 最上流部 冷水性 礫底 | 文献記録より ★ⅠA類 |
| 5 アカザ | 上流部 (銀橋より上) 礫底 | 文献記録より ★Ⅱ類 (VU) |
| 6 カワムツB型 (一部支流でA型?) | 最上流～中流 平瀬には少ない | ☆大阪Ⅰ類 |
| 7 カワヨシノボリ | 最上流～中流 岩陰 | 広く分布 |
| 8 ドンコ (アブラハヤ?) | 最上流～中下流 岩陰、草陰 | 猪名川水系では普通? ☆大阪要注目 ☆大阪情報不足 |
| 9 ウグイ | 上流 | 文献記録より ☆大阪要注目 |
| 10 シマドジョウ | 上流～中流 砂礫底 | 呉服橋付近まで ☆大阪要注目 |
| 11 ムギツク | 上流～中流 岩陰 | ドンコの巢に托卵 ☆大阪Ⅱ類 |
| 12 ズナガニゴイ | 上流 砂礫底 | 砂礫に潜る ☆大阪Ⅱ類 |
| 13 ギギ | 上流～中流 岩陰 | 猪名川水系では普通? ☆大阪準危惧 |
| 14 イトモロコ | 上流～中流 堰の下など | ☆大阪準危惧 |
| 15 コウライモロコ | 上流～中流 本流部 | ☆大阪要注目 |
| 16 カマツカ | 上流～中下流 砂礫底 | 普通に生息? ☆大阪要注目 |
| 17 オイカワ | 上流～中下流 | 平瀬で最も普通の魚 |
| 18 アブラボテ | 上流 砂礫底 (二枚貝に産卵) | 余野川で採集報告あり ☆大阪準危惧 |

中流域

| 魚種名 | 生息環境 | 備考 |
|---------------------------|--------------------|-------------------------|
| 1 アユ | 本流 | 大阪湾から遡上しているらしい |
| 2 オイカワ | 平瀬に多い | 最も普通の魚 |
| 3 カワムツB型 | 流れの緩やかな岩場など | 余野川・箕面川には多い |
| 4 ハス | 本流 | 数は少ない ☆大阪要注目 |
| 5 カマツカ | 砂礫底 | 普通に生息 ☆大阪要注目 |
| 6 コウライモロコ | 本流（水量の豊富な場所） | 比較的普通に生息 ☆大阪要注目 |
| 7 イトモロコ | コウライモロコより流れの緩やかな場所 | ☆大阪準絶滅 |
| 8 タモロコ | 本流のやや流れの緩やかな場所 | 比較的普通に生息 ☆大阪要注目 |
| 9 モツゴ | 流れの緩やかな場所～止水 | ワライワソト [*] に生息 |
| 10 ムギツク | 障害物の多い岩陰 | ドンコの巣に托卵 ☆大阪Ⅱ類 |
| 11 カワヒガイ | 砂礫底の流れの緩やかな場所 | 二枚貝に産卵 ☆大阪要注目 |
| 12 ヤリタナゴ | 本流の淵、用水路 | 二枚貝に産卵 ☆大阪Ⅱ類 |
| 13 タイリカバラタナゴ [*] | 流れの緩やかな場所～止水 | 二枚貝に産卵 稀に捕獲される |
| 14 コイ | 本流 | |
| 15 ニゴイ | 広い範囲に生息 | 普通に生息 |
| 16 ギンブナ | 汚染の進んだ場所にも生息 | *他のフナの種類は不明 |
| 17 ドジョウ | 流域のため池、田の溝など | 生息場所は少ない ☆大阪Ⅱ類 |
| 18 シマドジョウ | 砂礫底 | 呉服橋付近まで ☆大阪要注目 |
| 19 シマドジョウ中型 | 細かい砂礫底 | 極めて稀に捕獲 ☆大阪Ⅱ類 |
| 20 ヨシノボリ類 | 岩陰、礫の裏 | カワヨシノボリとトウヨシノボリが生息するらしい |
| 21 ドンコ | 岩陰、水草の陰 | 猪名川水系では普通？ ☆大阪要注目 |
| 22 ナマズ | 岩陰（夜行性） | 比較的普通に生息 |
| 23 ウナギ | 岩陰（夜行性） | 数は少ない |
| 24 ギギ | 岩陰（夜行性） | 猪名川水系では普通？ ☆大阪準絶滅 |
| 25 メダカ | 注水植物の茂る流れのない場所 | 河川敷内の各地 ★Ⅱ類（VU） |
| 26 カムルチー | 流域のため池、本流では稀 | 近年珍しくなった |
| 27 オオクチバス | 流れの緩やかな場所、ため池 | 他の魚を食害 |
| 28 ブルーギル | 流れの緩やかな場所、ため池 | 他の魚を食害 |

備考欄の★は国のレッドデータブック記載種 H11年2月公表

危険度の高い順に 絶滅危惧ⅠA類＞絶滅危惧ⅠB類＞絶滅危惧Ⅱ類（VU）＞準絶滅危惧（NT）

備考欄の☆は大阪府レッドデータブック記載種 H13年8月発行「大阪の自然ガイドブック」より

危険度の高い順に 絶滅危惧Ⅰ類＞絶滅危惧Ⅱ類＞準絶滅危惧＞要注目

II 猪名川流域で保護を要すると考えられる魚種

1 河川改修や流域の開発による底質や水質の低下で消滅の危険があるもの

- ・カジカ
- ・スナヤツメ
- ・ナガレホトケドジョウ
- ・アカザ
- ・ズナガニゴイ

2 主に河川改修によって減少の著しいもの

- ・ムギツク

3 河川改修と底質の悪化により、生息・産卵場所の減少によると考えられるもの

- ・スジシマドジョウ中型種

4 底質の変化によりイシガイ科の二枚貝が減少することによると考えられるもの

- ・アブラボテ イシガイ(?), マツカサガイに産卵
- ・ヤリタナゴ 主にマツカサガイ*に産卵
- ・タイリクバラタナゴ* 主にドブガイに産卵
- ・カワヒガイ 主にドブガイに産卵

*マツカサガイそのものも全国的に減少し、準絶滅危惧種 (NT) とされている。

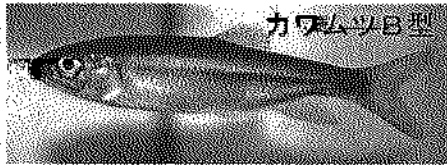
生息場所・産卵場所の減少に起因すると考えられるもの

*タイリクバラタナゴはかつて中国から移入されたものだが、生息していたため池の消滅や、北米からの移入魚の食害により生息地が激減している。保護が必要かどうかについては異論があろう。

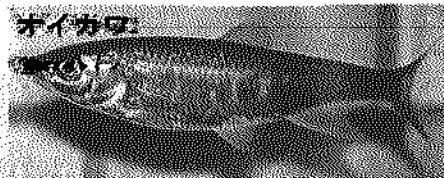
5 その他 (本来河川ではなく水田周辺や用水路・ため池が主な生息場所であった魚種)

- ・メダカ

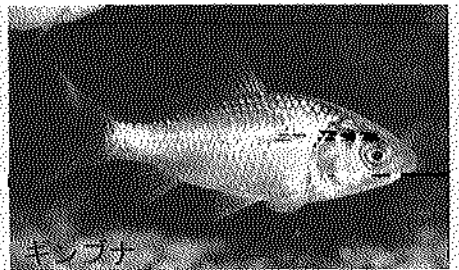
猪名川の魚たち



カワムツB型



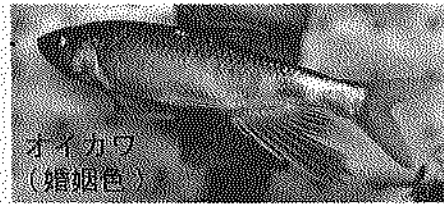
オイカワ



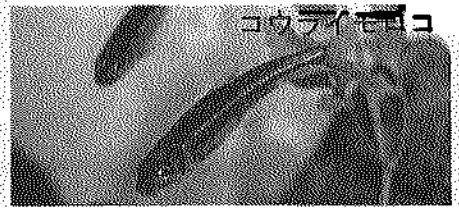
キンフナ



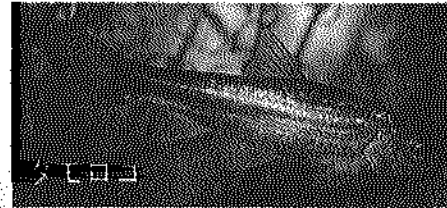
カワムツB型 (婚姻色)



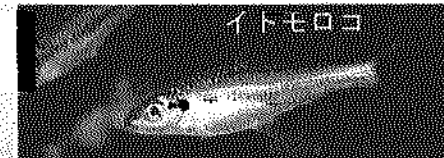
オイカワ (婚姻色)



コウライモロコ



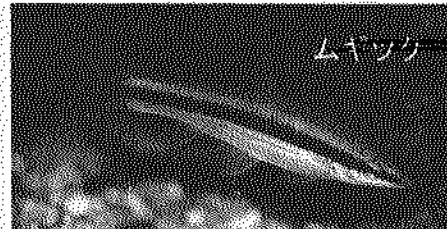
イトモロコ



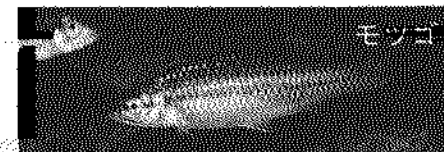
イトモロコ



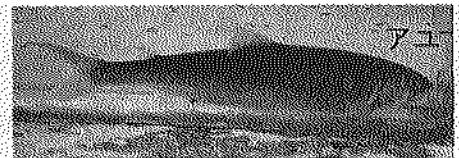
カワヒガイ



ムギツク



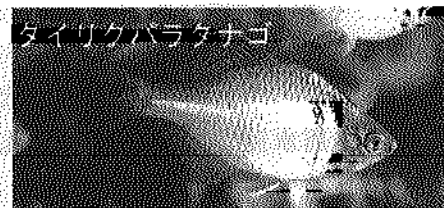
モツゴ



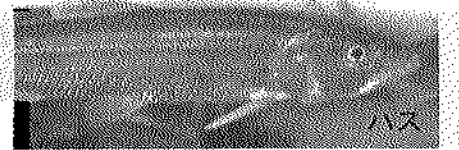
アユ



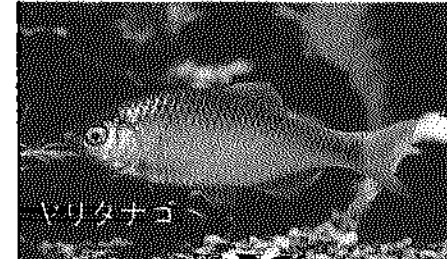
ガマツカ



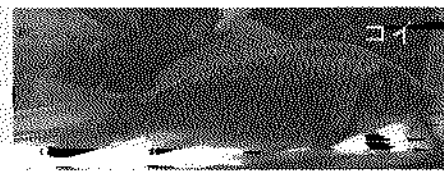
タイリクバラタナゴ



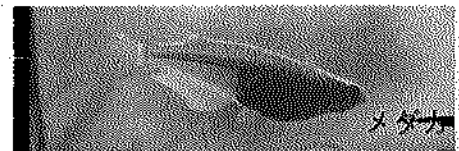
ハス



ブリタナゴ



コイ



メダカ



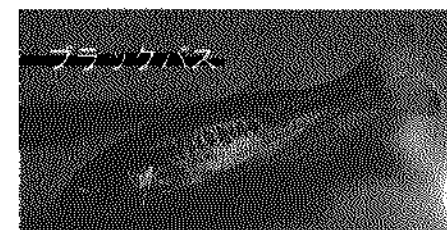
トシヨウ



アマノシロ



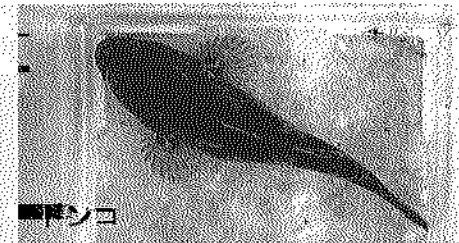
スズキマドシロ



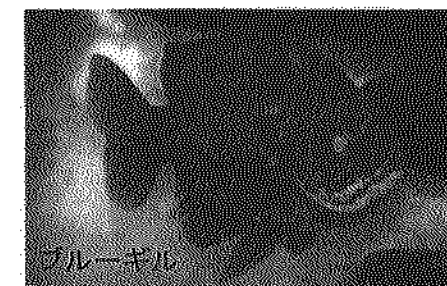
フナウバ



ナマス



ササシロ



ブルーギル



ギギ



カワヨシノボリ